

関東ふれあいの道(千葉)⑪森と森をつなぐみち

2022年(令和4年)12月28日 池内淑皓

2022年(令和4年)10月1日(土)晴れ、暑いが風は涼しい。

コロナと炎暑が収まって来たので、6月17日以来久しぶりに歩いた。今回は茂原に宿泊して、二日かけて

⑪、⑫、⑬と3コースを歩く予定にしている。距離は比較的短いので歩けるだろう。

起点・終点はJR外房線茂原駅となるから便利だ。



⑪森と森を継ぐみち案内板(首都圏自然歩道連絡協議会)



コース概念図



今日の JR 最寄り下車駅は茂原駅。9:11 着



駅から歩き継ぎの六地藏バス亭まで小湊バス 9:40 茂原駅発があるので、これを利用する



六地藏局前バス停。前回 6 月 17 日⑩はここがゴール、今日の⑪コースはここがスタート



バス通りを外れると、いきなり素敵な林道に出る



車も来ないし、静かだ。この道は地元では「山里の鳥探鳥コース」となっている



長柄山の集落に入ると、秋の主役たちのお出迎え(萩)



コスモスも咲いているし



名残のひまわりもまだ健在だ



「眼蔵寺」長柄山集落の中にある。長和2年(1013)開基



建久3年(1192)源頼朝が曼荼羅を奉納したので、胎蔵寺となった



「梵鐘」(国重文)弘長4年(1264)地元の広階永作が鑄造、無乳の鐘として有名。どのような音になるのだろうか



笠森観音への案内が出て来た



中間点辺りの叢の中にあった。草を刈り取り、土砂を払ってきれいになりました



今日のコースで一番標高の高い 120mに海上自衛隊の通信所がある



通信所を過ぎるとゆるやかな下りとなり、また静かな林道に変わる



文政3年(1819)の双体道祖神が道端にあった、この道は集落をつなぐ古道なのだろう



刑部(おさかべ)の集落に首都圏自然歩道千葉県ルート「インフォメーションセンター」がある、今日は休み



笠森観音目指して農道を行く、途中に八重垣神社があるので寄って行こう



「八重垣刑部神社」元応 2 年(1320)月川の神輿山に祠を立てたのが始まり



長柄町の里道を歩く



暑いけど空気が乾いている、すっかり秋だ



農家の入口には、どこでも草花が丹精されている



穏やかな里の秋。今は草木の焼却は禁止となっているが、何とも言えない煙の臭いが、疎開した信州を思い出す



様々な看板が林立



長柄町大庭から「笠森寺自然林」の歩道に入る。切通しとなっているこの道は、



案内板によると長柄町から市原にあった「上総の国府」に通じる官道だと言う



国府に到る街道として台地を削り、切通として笠森観音へ通じる道を開削した



当然素敵な古道であるから、「関東ふれあいの道」にも採用されている



突如現れた仁王尊門、裏からの笠森観音の入口だ



表門の山門を潜ると茶店が並び、観音様に来た。穏やかに時が流れ、何ともおだやかな気持ちになる



「天台宗大本山笠森寺」坂東 33 札所の 31 番目。延暦 3 年(784)最澄上人が 11 面観音菩薩像安置し、開基した



観音堂は長元元年(1028)後一条天皇の勅願により建立された、日本唯一の「四方懸造り」として国指定重要文化財となっている



観音様にお参りして、女坂を下って 10 分でバス停に着く。茂原駅行きのバス時刻は 11:40, 14:05, 15:20 であるから注意の事 今日茂原駅前のビジネスホテルに宿泊する

[参考タイム] 茂原駅(9:40)→六地藏(10:10-10:20)→眼蔵寺(10:50-11:00)中昼食 0:20)→
インフォメーションセンター(12:35-12:40)→八重垣上部神社(13:00-13:05)→笠森観音(14:35-15:05)
→笠森バス停(15:15-15:20)→茂原駅(15:50)

この項完

「関東ふれあいの道(千葉)⑫観音様のみち」へ続く